

# 東地区地域包括支援センター便り 第6号

平成25年3月15日発行

たとえば…

## 地域包括支援センターは、



**高齢者の  
身近な相談窓口  
です。**

- ◇介護保険ってなに？
- ◇近所に住む一人暮らしのおじいちゃんが最近閉じこもりぎみで心配…
- ◇地域のサロンに参加したい



- ◇金銭管理に不安を感じるようになってきた…
- ◇悪質な訪問販売被害にあった
- ◇もしかして高齢者虐待？



- ◇今の健康を維持していきたい
- ◇介護保険の申請を考えているけど、どうすればいいの？
- ◇介護サービスを使いたい？



- ◇ずっとこの街で暮らしていきたいけど、具合が悪くなっても大丈夫？
- ◇ケアマネジャーってどんな人？



## — 東地区の事業所紹介 —

東地区内にある高齢者施設や事業所を紹介しております。  
第四回目は 《スマイルホーム にじ》 様です。

住宅型有料老人ホーム・・・

トイレ付22部屋、トイレなし10部屋、夫婦部屋1部屋（全個室）

また、デイサービス・ケアプランを併設し、ほかヘルパーステーションもあります。

ご利用者さまの身体状況に応じて、適切な介護サービスを提供しております。

※広い敷地に温かい日差しと木の温もりの中、穏やかに日々を過ごして頂く為に、職員全員で質の高い介護を目指しており、地区の行事（運動会・敬老会・祭りなど）にも積極的に参加しております。

お問い合わせ先

〒887-0033


住所 日南市大字平山541番地2

電話 0987-23-7755

スマイルホーム にじ 中島 竜二



☆☆☆相談は無料です☆☆☆

 社会福祉法人 敬和会

日南市東地区地域包括支援センター

〒887-0014

日南市岩崎2丁目8番18号(油津駅通)

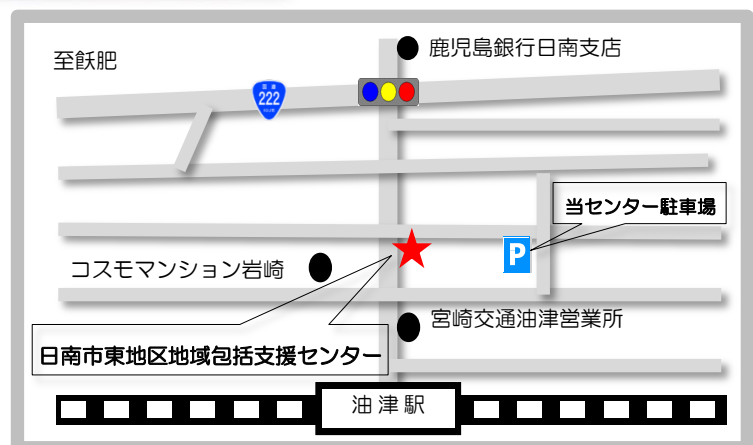
TEL 0987-23-6099

FAX 0987-23-4188

窓口：月～金 8：30～17：15

休日：土曜・日曜・祝日

年末年始（12/29～1/3）



## ～ 社会福祉士からの一言 ～

### 「押し買い」に要注意！！

#### ◆ 「押し買い」とは・・・

消費者の自宅を訪問し、貴金属や宝飾品、着物等を強引に法外な安価で買ったことにして持ち去ってしまう行為の事で、悪質商法の一つです。今、この押し買いに関する相談が、消費生活センターに急増しています。主な相談内容は・・・、

「業者の勧誘が強引で怖かったので、買い取りに応じてしまった」

「貴金属を買い取ってもらったが、買い取り価格が安すぎると思い解約を申し出たところ、解約は受け付けないという書面を渡しているので出来ないと言われた」といったものです。



### ◆ 消費者へのアドバイス！

- ① 買い取ってもらうつもりがないならキッパリ断る！
- ② 業者に対して一人で対応するのは避ける！
- ③ 相手がどのような業者なのか確認する！
- ④ 買い取り条件などが明記された書面をもらう！
- ⑤ 何かあったら最寄りの消費生活センターや警察に相談！

### ◆ 押し買いが規制の対象に！

- ① 売り主から依頼されない限り業者は買い取り出来ない。
- ② 売った物を返してもらう8日間のクーリングオフが認められる。
- ③ クーリングオフの期間は、物を引き渡さなくても良い。
- ④ 業者名や買い取り価格等を明記した書類の交付が義務付けられる。

### ☆不審な業者は、家に上げないこと！！



## ～ 看護師からの一言 ～

### 「花粉症」の季節がやってきました！



#### 花粉症の原因とメカニズム

- ・花粉症は、花粉に対するアレルギー反応です。体の免疫機能が過剰に働き、鼻や目など人体内に入った花粉を、体の外に出そうとするためにクシャミや鼻水や涙が出ます。



#### 花粉症対策

##### ◆ なるべく花粉を遠ざけよう！

- ・窓や玄関の開け閉めに注意し、なるべく外出を控える。
- ・マスク（花粉を1/6に軽減）、めがね（花粉を1/4に軽減）をする。
- ・花粉が絡みやすいコート等の着用を避ける。 ・帰宅時に手洗いやうがいを徹底する。
- ・家に入る際には衣服についた花粉を払い落とす。



##### ◆ アレルギー症状を緩和しよう！

- ・アレルギー症状は薬によって軽減できます。症状が出てからよりも、花粉が飛散し始めた時期からあらかじめ投与しておく方が、効果が高いそうです。花粉症だと分っている方は、症状が出るのを待つのではなく、花粉の飛散開始と共に病院に行く事が症状の悪化を防ぎます。



##### ◆ 花粉飛散情報をチェックしよう！

- ・テレビや新聞などで、花粉飛散情報をチェックして、花粉の多い日は、なるべく外出を控えるなどの対策も重要です。

